

**東風**

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年9月30日発行 第7号

『ひまわりの花のように』

岩内東小学校長 齊 藤 信 之

交通事故で亡くなった4歳の男の子が生前に育てていたひまわりの種を引継ぎ、その花を咲かせることで命の尊さをと被害者支援の理解を深める「ひまわりの絆プロジェクト」。今年6月、本校でも岩内警察署から種をいただき、1年生の子たちが栽培園の一角に植えました。子どもたちのお世話の甲斐あって、やがて花を咲かせたひまわりは、夏の太陽に向かって命いっぱい輝きました。夏の厳しい日差しに向かって強く元気に咲くひまわりの花が、私たちに明るさと元気を届けてくれました。

昔の子どもは、悪いことを考えると周りの大人に「お天道様が見ているよ」と言われたものです。ご存知のように、これは「誰も見ていなくても自分自身が見ている」「正しい行動がとれるよう常に良心に問いかけなさい」ということを教える言葉です。太陽は自分の良心であり、ひまわりは常に、その太陽に向かって咲き続けます。ひまわりの花を見ると、明るく元気な気持ちになれるのは、良心に向かって堂々と輝く自分自身を映し出しているからではないでしょうか。

情報が氾濫している現代、子どもたちは、ときにそれに惑わされ、押しつぶされそうになります。また、友人関係での悩みを抱えたり、コロナ禍での学校生活の制約や行事の延期、少年団等、活躍の場の消失など、残念で悔しい思いをしている子も少なくないはずです。小さな胸に不安や葛藤、苛立ちをため込んでしまっていることはないでしょうか。現在、学校には、子どもや保護者の皆さんの心のケアをしてくださるスクール・カウンセラーの先生が定期的に訪れています。どんな些細なことでも相談できます。是非、カウンセラーの先生に話を聞いてもらいたい、話してみたいという方は、お気軽に学校へお知らせください。

長く続いた3度目の緊急事態宣言も、今月末で解除となります。延期していた宿泊研修や開催方法を変えて行う学習発表会（学芸会）が、計画に沿って進めることができることを嬉しく思います。何かと我慢を強いることが多くなりがちですが、たとえコロナ禍にあっても、子どもたちには、日常の明るい笑顔や会話を忘れることなく、互いに優しさを広げながら学校生活を楽しんでほしいと思っています。咲き誇るひまわりの花のように明るくたくましく、そして、太陽に向かって堂々と歩いていく東小学校の子どもたちであってほしいと願っています。